

庄内日報

3月24日(木)
発行所
庄内日報社
社/〒997-0125
鶴岡市東通町8-29
電話0239-221481(代)
青田支社/〒998-0945
五国町一丁目6-2
電話0234-224241(代)
仙北支社/〒999-0001
仙北町1丁目10
電話0236-221211

購読のお申し込み	
TEL(0239)	22-1481
編集部直通	22-1482
TEL(0239)	22-1427
FAX(0239)	22-1427
広告のお申し込み	22-1479
TEL(0239)	22-2633
FAX(0239)	22-2633
印刷のお申し込み	22-1724
TEL(0239)	22-1724
ホームページ http://www.shonai-nippo.co.jp/	

産婦人科・小児科
三井病院
0235(2)3290

「総合的な医療対策必要」

菅原医師の説明に本間病院の職員らが耳を傾けた



本間病院の医療支援チームは、20日午前8時に同病院内の板倉総合病院(以下「板倉院」)へ入り、同病院内の職員らと面談を行った。菅原医師は、本間病院の職員らに対し、「東日本大震災で被災した宮城県栗原市を拠点とする本間病院(中島明樹理事長)の菅原医師らが22日、同病院内で報告会を開いた。物資不足からベットの用のおシートをお借り代わり、自宅に持って来て食料品を購入するのにも6時間も待たないといけないなど、過酷な現場の様子を生々しく話した。菅原医師は、地震そのものや避難所暮らしでストレスを受けている住民が多いため「メンタル面を含めた総合的な医療対策が必要」との認識を示した。

菅原医師の説明に本間病院の職員らが耳を傾けた。菅原医師は、本間病院の職員らに対し、「東日本大震災で被災した宮城県栗原市を拠点とする本間病院(中島明樹理事長)の菅原医師らが22日、同病院内で報告会を開いた。物資不足からベットの用のおシートをお借り代わり、自宅に持って来て食料品を購入するのにも6時間も待たないといけないなど、過酷な現場の様子を生々しく話した。菅原医師は、地震そのものや避難所暮らしでストレスを受けている住民が多いため「メンタル面を含めた総合的な医療対策が必要」との認識を示した。

東日本大震災 宮城被災地で活動 酒田市の本間病院 スタッフにもストレス 支援チームが現状報告

東日本大震災で被災した宮城県栗原市を拠点とする本間病院(中島明樹理事長)の菅原医師らが22日、同病院内で報告会を開いた。物資不足からベットの用のおシートをお借り代わり、自宅に持って来て食料品を購入するのにも6時間も待たないといけないなど、過酷な現場の様子を生々しく話した。菅原医師は、地震そのものや避難所暮らしでストレスを受けている住民が多いため「メンタル面を含めた総合的な医療対策が必要」との認識を示した。

本間病院の医療支援チームは、20日午前8時に同病院内の板倉総合病院(以下「板倉院」)へ入り、同病院内の職員らと面談を行った。菅原医師は、本間病院の職員らに対し、「東日本大震災で被災した宮城県栗原市を拠点とする本間病院(中島明樹理事長)の菅原医師らが22日、同病院内で報告会を開いた。物資不足からベットの用のおシートをお借り代わり、自宅に持って来て食料品を購入するのにも6時間も待たないといけないなど、過酷な現場の様子を生々しく話した。菅原医師は、地震そのものや避難所暮らしでストレスを受けている住民が多いため「メンタル面を含めた総合的な医療対策が必要」との認識を示した。



酒田地区の支援活動で笑顔であいさつする様子

菅原医師は、本間病院の職員らに対し、「東日本大震災で被災した宮城県栗原市を拠点とする本間病院(中島明樹理事長)の菅原医師らが22日、同病院内で報告会を開いた。物資不足からベットの用のおシートをお借り代わり、自宅に持って来て食料品を購入するのにも6時間も待たないといけないなど、過酷な現場の様子を生々しく話した。菅原医師は、地震そのものや避難所暮らしでストレスを受けている住民が多いため「メンタル面を含めた総合的な医療対策が必要」との認識を示した。

菅原医師は、本間病院の職員らに対し、「東日本大震災で被災した宮城県栗原市を拠点とする本間病院(中島明樹理事長)の菅原医師らが22日、同病院内で報告会を開いた。物資不足からベットの用のおシートをお借り代わり、自宅に持って来て食料品を購入するのにも6時間も待たないといけないなど、過酷な現場の様子を生々しく話した。菅原医師は、地震そのものや避難所暮らしでストレスを受けている住民が多いため「メンタル面を含めた総合的な医療対策が必要」との認識を示した。

まずは「あいさつ」

酒田地区の支援活動で笑顔であいさつする様子。菅原医師は、本間病院の職員らに対し、「東日本大震災で被災した宮城県栗原市を拠点とする本間病院(中島明樹理事長)の菅原医師らが22日、同病院内で報告会を開いた。物資不足からベットの用のおシートをお借り代わり、自宅に持って来て食料品を購入するのにも6時間も待たないといけないなど、過酷な現場の様子を生々しく話した。菅原医師は、地震そのものや避難所暮らしでストレスを受けている住民が多いため「メンタル面を含めた総合的な医療対策が必要」との認識を示した。

菅原医師は、本間病院の職員らに対し、「東日本大震災で被災した宮城県栗原市を拠点とする本間病院(中島明樹理事長)の菅原医師らが22日、同病院内で報告会を開いた。物資不足からベットの用のおシートをお借り代わり、自宅に持って来て食料品を購入するのにも6時間も待たないといけないなど、過酷な現場の様子を生々しく話した。菅原医師は、地震そのものや避難所暮らしでストレスを受けている住民が多いため「メンタル面を含めた総合的な医療対策が必要」との認識を示した。